

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）

- **教育プログラムの名称**

データサイエンス教育プログラム

- **身につけることのできる能力**

1. データサイエンスの必要性を説明できる。
2. 地域を含む実社会でのデータサイエンスの事例を例示できる。
3. 代表的なデータサイエンスの技術とその利点・欠点を概説できる。
4. どのような思考方法でデータを扱うか説明できる。
5. 基本的なデータの読み方、収集、解析のスキル

- **修了要件**

農学部共同獣医学科以外の学部・学科においては、「情報リテラシ」（1年次前期、2単位、必修）及び「データサイエンス入門」（1年次前期、1単位、必修（医学部保健学科看護学専攻は選択））の両方の単位を修得した者

農学部共同獣医学科においては、「情報リテラシ」（1年次前期、2単位、必修）及び「大学入門ゼミ」（1年次前期、2単位、必修）の両方の単位を修得した者

令和4年度からは全学部全学科で、「情報リテラシ」及び「データサイエンス入門」の両方の単位を修得した者

- **開設される授業科目**

情報リテラシ

データサイエンス入門（農学部共同獣医学科においては「大学入門ゼミ」の一部として「データサイエンス入門」を開講）

※令和4年度からは全学部全学科で、「情報リテラシ」及び「データサイエンス入門」を必修科目とする。

- 授業の方法及び内容

- ◆ 情報リテラシ (1年次前期)

情報リテラシでは、情報通信ネットワークの発達した現代社会で必要となっている情報倫理・セキュリティを養いながら、パソコンの基本的な構造と機能、及びワープロ、電子メール、インターネット、表計算システム、データベース、プレゼンテーションなど基本ソフトの利用方法について、講義・テキストによって理論的な知識を学ぶと共に、ノート型パソコンを用いた演習によって実践的な技術を習得する。

情報リテラシ・シラバス (令和3年度)

時間割コード	クラス	指定クラス
AG20010001	01	地域学部：地域学科 (地域創造コース)
AG20010002	02	地域学部：地域学科 (人間形成コース)
AG20010003	03	地域学部：地域学科 (国際地域文化コース)
AG200100	04	医学部：医学科 ※「医学科教育学修プログラム」10ページ参照
AG20010005	05	医学部：生命科学科、保健学科 (検査技術科学専攻)
AG20010006	06	医学部：保健学科 (看護学専攻)
AG20010007	07	工学部：機械物理系学科
AG20010008	08	工学部：機械物理系学科
AG20010009	09	工学部：電気情報系学科
AG20010010	10	工学部：電気情報系学科
AG20010011	11	工学部：化学バイオ系学科
AG20010012	12	工学部：化学バイオ系学科
AG20010013	13	工学部：社会システム土木系学科

AG20010014	14	工学部：社会システム土木系学科
AG20010015	15	農学部：生命環境農学科
AG20010016	16	農学部：生命環境農学科
AG20010017	17	農学部：生命環境農学科
AG20010018	18	農学部：生命環境農学科、共同獣医学科

◆ データサイエンス入門（1年次前期）

多量かつ多様なデータを処理・分析し、データから価値を引き出すことができるようになるためには、コンピュータ、統計学および機械学習の知識が必要となるが、データサイエンスの応用分野は人や社会に関連する分野であることが多く、この意味においてデータサイエンスの素養は文系理系の区別を問わず必要とされる。本科目では、ビッグデータ時代を生きる全ての大学生が身に付けておくべきリテラシーとしてのデータサイエンスへの入門を解説する。

データサイエンス入門・シラバス（令和3年度）

大学入門ゼミ（農学部共同獣医学科）・シラバス（令和3年度） ※第9回～第16回でデータサイエンス入門と同内容を開講

● 実施体制

プログラムを改善・進化させるための体制

教育支援・国際交流推進機構データサイエンス教育センター

プログラムの自己点検・評価を行う体制

教育支援・国際交流推進機構データサイエンス教育センター、高等教育開発センター